

III . 調査研究の結果（２）

～事件発生に関する模型実験の結果～

1. 今回模型実験調査研究の目的と方法

（１）目的

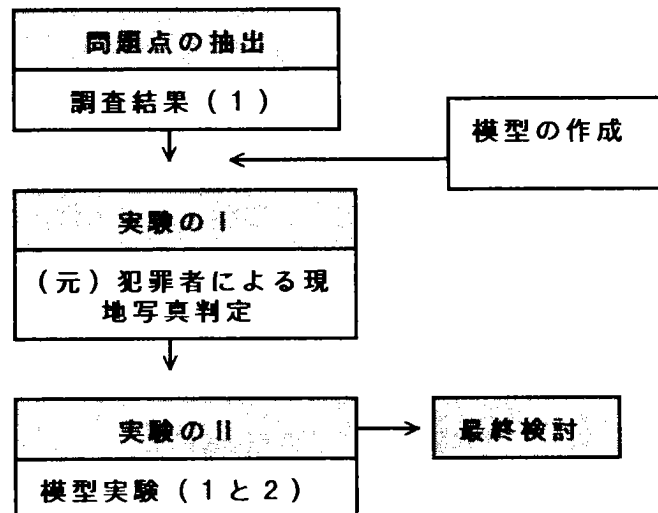
調査研究の結果（１）の実査で抽出された空間的特性を基にミニ模型を作成する。このミニ模型を（元）犯罪者に判定させ、上記（１）の問題点解決のための空間設計的手法を検討する。

今回は、市街地の空間的環境的特性に関し、下記に示す様に14のチェックポイントが抽出されたが、被験者（元犯罪者）の写真を使った現地空間の判定により、特に通学路及び歩道といった道路環境に焦点を絞って検討を進めることとする。

（２）方法及び被験者

（元）専門的盗犯（侵入盗）に、作成したミニ模型の現す空間を評価させ、その問題点の解決手法を検討する。

具体的手続きとしては、以下の過程で行われた。



被験者は、（元）専門的盗犯で、年齢は61才、検挙歴8回、犯行実行経験100回以上（本人報告）、現在無職の男性である。

本人は、侵入盗が中心であるが、これまで路上でのひったくり犯罪にも関心を持ち、刑務所内での交友、また出所後の（元）ひったくり犯との犯行経験の交換等から、こうした路上を利用した通り魔的な擦れ違い犯罪の犯罪実行にも十分な知識を持っていると述べている。

2. 先行してなされた犯行現場の実査結果

調査研究の結果（1）で述べた様に、神戸・酒鬼薔薇による連続少女殺傷事件の事件現場の参加観察によって、現場の空間についての以下の13の特徴（Point）が抽出された。

- （1）通学路の幅員の狭さ（回避行動の制限＝Point1）
- （2）通学路片側の斜面による壁の形勢（回避行動の制限＝Point2）
- （3）団地街での住棟の配置位置の無計画さ（視線監視性の劣性＝Point3）
- （4）通学路片側の団地植栽による壁の形成（回避行動の制限＝Point4）
- （5）団地街からの視線遮断壁面の形成（視線監視性の劣性＝Point6）
- （6）団地住棟による視線遮断壁面の形成（視線監視性の劣性＝Point7）
- （7）定常的な人気の無さ（空間の相対的な脆弱性＝Point8）
- （8）歩道の幅員の狭さ（回避行動の制限＝Point9）
- （9）歩道片側の斜面による壁の形成（回避行動の制限＝Point10）
- （10）歩道片側の崖の形成（回避行動の制限＝Point11）
- （11）団地街での住棟の配置位置の無計画さ（視線監視性の劣性＝Point12）
- （12）計画性なく交差する小街路の形成（形成される迷路性＝Point13）
- （13）無目的で無計画な小空地の存在（点在する空間の無有責性＝Point14）

3. 実験結果の1

上記に示された調査研究の結果（1）について、現地の写真を提示しながら、「この項目の中の何が、最も問題だったと思うか」という質問で、「問題だ」と思う順に番号を打たせ、空間的環境的問題点に（元）犯罪者の専門的判定を求めた。

その結果、以下の様な順位付けがなされた（表 2-1）。

最も問題だと 1 番を付けられたのは、（1）の通学路の幅員の狭さ及び（8）の歩道の幅員の狭さの 2 項目であった。いずれも「道路幅員の狭さ」に関係するものであった。

（元）犯罪者が、この 2 項目に 1 位を付けた理由として、以下の点が述べられた。

実験の 2 であるミニ模型実験は、この判定を基に、道路環境の内の道路幅に焦点を絞って進めることとする。

表 2-1 犯罪者による市街地の空間的環境的問題点の写真判定

評 定 項 目	犯罪者による順位
(1) 通学路の幅員の狭さ	1
(2) 通学路片側の斜面による壁の形成	2
(3) 団地街での住棟の配置位置の無計画さ	5
(4) 通学路片側の団地植栽による壁の形成	3
(5) 団地街の視線遮断植栽壁面の形成	4
(6) 団地住棟による視線遮断壁面の形成	3
(7) 定常的な人気の無さ	4 (註#3)
(8) 歩道の幅員の狭さ	1
(9) 歩道片側の斜面による壁の形成	2
(10) 歩道片側の崖の形成	2
(11) 団地街での住棟の配置位置の無計画さ	5
(12) 計画性なく交差する小街路の形成	3 (註#2)
(13) 無目的で無計画な小空地の存在	3

表 2-2 (元) 犯罪者の評定理由

<p>こう判断したのは、2つの理由が在ります。</p> <p>(1) ひとつは、木が植えられていようといまいと、要するに犯罪者はやる時にはやる、ということです。</p> <p>ですから、最終的には、被害者が「瞬間的」に「逃げられるるか」ということが大切なのです。</p> <p>そうして見た時、やはり何よりも「道路の幅」ですよ。</p> <p>(2) 2番目の理由は、やりやすい道路かどうかは、だいたい、その道路が、どんな幅でどう造られているか、丁寧に造られているかどうか、で分かるもの何ですよ。</p> <p>やっぱり、何となしに、ここは気を入れて造っているな、というのは、道路の幅、同じ狭くても、狭いなりに考えてますよね。</p> <p>逆に言えば、ただ造りました、という道路は中途半端に狭かったり広かったりですよ。</p>
--